

座間味村の陶磁器

宮城篤正*

昭和57年3月8日、その日は朝からいまにも泣きだしそうに低くたれこめた曇り空と肌寒い日であった。午前10時泊港北岸から定期船「ざまみ丸」(380屯)に乗船して出発した。旅行目的は座間味村内に残る絵画・陶磁器資料を調査することにあった。当館では去年度の渡名喜村の総合調査に引き続いて、昭和56年度は座間味村を調査地として決定してあった。ところが筆者は去年「沖縄の美—日本民芸館蔵—」の特別展の直接の担当者であった関係で調査に出る時間的余裕が持てず、とうとう年を越して3月になってしまった。

船は出発して島影を出ると海上はかなり風波が強く、途中から雨も降り出した。船は阿嘉島経由で正午過ぎに座間味島に着いた。港の近くには離島振興センターの大きな建物が出来ていて、以前とかなり様子がかわっているのにまず驚いた。港では村教育委員会の中村民子主事が出迎えてくれた。ひとまず滞在中お世話になる仲村旅館に行き、昼食を済ませてから、午後一時過ぎに教育委員会へ挨拶に行った。今回の調査では村当局をはじめ、教育委員会の宮里哲夫教育長、宮平善孝氏、宮平勝氏、中村民子氏、慶留間中学校の我那覇慎英氏、阿嘉中学校の吉元清助氏、外間昌秀氏、金城国雄氏等に大変お世話をいただいた。心からお礼を申しあげます。また、陶磁器調査に心よく応じてくださった多くの村民の方々に対しても厚くお礼を申しあげます。なお、調査期間中ずっと中村主事が同

行してくれたおかげで、短期間で能率よく三つの島々が調査出来たことはとてもありがたかった。

座間味村は去る沖縄戦におけるもっとも大きな被害を受け、悲惨をきわめた地域であったことでも知られている。今回、私の調査対象である陶磁器資料を通じても、ある程度その影響の大きさが感じられた。ただし、それがどの程度の被害であったのか、かなり時間的に経過している現在、具体的に調査出来なかった。調査中、沖縄戦によって失ったとか、戦争中米兵によって持ち去られたなどの話をいくどか耳にした。

戦後は本島からやってくるユタによって島のやきものの類は島外に持ち出された話も聞いた。このような状況下で島の生活文化財的な陶磁器が減少していくことは確かである。現在、同村内には古い碗とか皿類が殆んど残っていない。荒焼の壺や甕類を見た限りでは大半が大正から昭和初期にかけての壺屋焼であり、それより古い資料には殆んどお目にかかりなかった。そして、残っている古いものといえば、各家庭の仏壇に大事に置かれている香炉類が目立って多かった。結果的に見ると今回の調査もいわば香炉調査に終始した格好になっている。ただし、旧家の場合を除くと、そんなに古いものを見かけたわけではない。このことと日用雑器や甕類と比較検討してみてもわかるように島の生活水準と大きくかかわりを持っているように思われる。すなわち、島ではそれらのものを購入して使用

しだしたのは比較的新しい時代のことかも知れない。というのは古い時代に小さな離島にすぐれた美術・工芸品が殆んど伝わらなかった事例からもうなずけよう。つまり島の生活にはそれほど余裕がなかったことに大きく起因すると考えられる。このことは、なにも座間味村に限ってだけいえることではなく、殆どの離島にあてはまることがある。

今回もっと多く調査した香炉について、ひとつふれておくと、大半が壺屋製で、時代も19~20世紀のものが多かった。しかしその内訳をみるとルリ釉、緑釉、飴釉、呉須絵の香炉などバラエティーに富む内容であった。

一方、村内の2~3の旧家には立派な中国製の青磁またはルリ釉の香炉が現存していること

を確認した。以上、全般的に簡単に述べたが、個々の資料については、紙数制限の関係上、ここで詳しく述べることが出来ない。そこでこの点は資料一覧表にゆづることにしたい。

<追記>

座間味島の阿佐に阿佐船頭殿（屋号）と呼ばれる旧家がある。そこには紙本彩色の「二十四孝図」（三幅対）が伝わっている。時代、筆者等は不詳であるが、中国絵画であることはほぼ間違いないだろう。現在、かなり表具がいたんでいるので、早急に修理を必要としている。絵画資料の少ない同村にとっては、文化財に指定するだけの価値を十分に有する資料であることを附記しておきたい。

陶磁器資料一覧

No.	品 名	窯	時 代	寸法(単位cm)	所有者名 (敬称略)	住 所
字座間味						
1	支那南蛮甕	中 国	19~20 世紀	高さ 49.5 口径 21.2	仲村 光	字座間味 71
2	香 爐	"	18~19 "	高さ 6.4 口径 12.0	" "	" "
3	ルリ釉香炉	壺 屋	19世紀	高さ 13.2 19.7	天孫子宮	" /
4	緑釉香炉	"	"	高さ 口径 21.5	" "	" /
5	" "	"	"	高さ 12.7 口径 21.5	中天孫子宮	" /
6	" "	"	"	高さ 10.0 口径 20.4	フカヌ殿	" /
7	ルリ釉香炉	"	"	高さ 11.7 口径 20.0	" "	" /
8	" "	中 国	18~19 "	高さ 9.5 口径 21.0	ウチヌ殿	" /
9	" "	壺 屋	19世紀	高さ 10.0 口径 18.0	" "	" /
10	白薩摩花瓶	薩摩(鹿児島)	18~19 "	高さ 47 底径 13.7	仲村 春子	" 74
11	鳳凰文染付皿	有田(佐賀)	明治時代	高さ 3.4 径 24.4	宮里 薫	" 104
12	ルリ釉香炉	壺 屋	19世紀	高さ 10.6 口径 18.3	" "	" "
高月山 (拝所)						
13	緑釉四角香炉	壺 屋	19世紀	タテ ヨコ 17.4 11.5	フトウキヌメー	(拝所) 高月山
14	緑釉香炉	"	"	口径 18.4	" "	"
15	ルリ釉香炉	"	"	" 13.3	" "	"
16	焼締香炉	"	"	" 16.3	" "	"
17	白磁香炉	中国(か)	"	" 14.0	" "	"
字阿佐						
18	支那南蛮甕	中国(か)	19~20 "	高さ 46.6 口径 22.7 (画面のみ)	与那嶺盛光	字阿佐 20
19	二十四孝図(三幅)	"		タテ 115.5 ヨコ 52.5	阿佐船頭殿	/
20	染付喜字梅竹文花瓶	"	18~19 "	高さ 35.5 底径 13.3	" "	/
21	青磁香炉	"	"	高さ 11.0 口径 12.3	" "	/
22	赤絵香炉	"	"	高さ 6.8 口径 12.4	" "	/
23	ルリ釉香炉	"		高さ 7.9 口径 13.2	" "	/

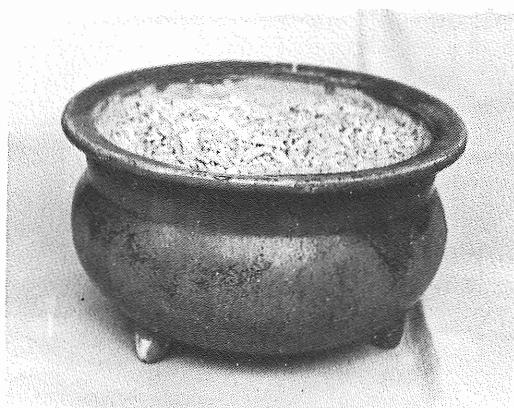
No.	品 名	窯	時 代	寸法 (単位cm)	所有者名 (敬称略)	住 所
24	緑釉香炉	壺 屋	19世紀	高さ 7.4 口径 13.7	阿佐船頭殿	字阿佐／
25	染付山水文火鉢	有田(佐賀)	明治時代	" 25.4 " 36.5	" "	" /
26	青磁香炉	中 国	17～ 18世紀	" 13.8 " 23.7	高江洲正弘	" 42
27	香 炉	"	18～ 19世紀	" 7.2 " 8.3	" "	" "
28	花紺青画花梅文香炉	壺 屋	18世紀	" 10.0 " 24.5	阿佐の殿	" /
29	支那南蛮甕	中 国	19～ 20世紀	" 47.5 " 19.8	比嘉 真義	字阿真 19
30	荒焼徳利	壺 屋	大正～ 昭和初期	" 32.7 " 7.2	高良正永氏コレクション (離島振興センター)	
31	飴釉アンドガーミ	"	"	" 20.7 " 10.6	" "	"
32	黒釉 "	"	"	" 23.3 " 11.9	" "	"
33	飴釉 "	"	"	" 22.7 " 11.1	" "	"
34	支那南蛮甕	中 国	19～ 20世紀	" 46.7 " 12.7	" "	"
35	" "	"	"	" 35.6 " 9.8	" "	"
36	荒焼壺(銘入り)	壺 屋	大正10年	" 21.7 " 10.6	" "	"
37	黒釉茶壺	"	19世紀	" 18.6 " 7.0	" "	"
38	黄釉四耳注口付壺	中 国	18～ 19世紀	" 18.9 " 11.4	" "	"
39	雲 助	薩摩 (鹿児島)	"	" 34.5 " 10.9	" "	"
40	荒焼徳利	壺 屋	明治時代	" 30.2 " 6.3	" "	"
41	黒釉アンドガーミ (フタ付)	"	戦後作(か)	" 23.0 " 9.4	" "	"
42	支那南蛮甕	中 国	19～ 20世紀	" 38.2 " 12.0	" "	"
43	" "	"	"	" 39.4 " 16.5	" "	"
44	" "	"	"	" 53.0 " 14.5	" "	"
45	手付壺		19世紀(か)	" 9.0	離島振興 センター (唐船クムイ引揚)	
46	支那南蛮甕	中 国	19～ 20世紀	" 42.4 " 12.7	宮平 善孝 (教育委員会)	
字阿嘉						
47	染付雲龍文香炉	中 国 (?)		実測せず	イビヌメー	字阿嘉／

No.	品 名	窯	時 代	寸法(単位cm)	所有者名 (敬称略)	住 所
48	水 魏	壺 屋	20世紀	実測せず	垣花 ウト	字阿嘉 109
49	染付香炉	中 国 (?)		"		
50	水 魏	壺 屋	20世紀	"		字阿嘉 127
51	ルリ釉香炉	中 国	18~ 19世紀	高さ 9.8 口径 21.0	喜屋武カメ	" 129
52	" "	有 田 (?)	19世紀	" 15.2 " 24.5	" "	" "
53	波状文香炉	知 花 (?)	16~ 17世紀	" 7.4 " 14.5	仲村 正助	" 98
54	黒釉花生	壺 屋	19世紀	" 33.0 " 19.9	" "	" "
55	青磁香炉	中 国	18~ 19世紀	" 10.0 " 22.0	" "	" "
56	荒焼徳利(2個)	壺 屋	19世紀	" 33.0 " 36.0	" "	" "
57	飴釉香炉		"	"	仲村正助氏の東隣りのお宮	
58	香 炉	中 国 (?)	18~ 19世紀		" "	"
59	薩摩焼魏	薩 摩 (鹿児島)	"	" 61.2 " 20.0	垣花 福松	字阿嘉 73
60	飴釉竹筒型花生	壺 屋	19世紀	" 28.7 " 12.6	金城英三郎	" 83
61	香 炉				金城 正吉	" 125
62	ルリ釉香炉	壺 屋	19世紀	" 13.8 " 22.3	新城 三郎	" 113
63	雲 助	薩 摩 (鹿児島)	18~ 19世紀	" 37.5 " 11.8	仲村 太郎	" 108
64	二耳壺	古 我 知	19世紀	" 45.6 " 12.7	" "	" "
字慶留間						
65	緑釉香炉	壺 屋	19世紀	" 8.3 " 16.2	野崎 真助	字慶留間 66
66	"		"	" 8.1 " 11.3	仲村 幸一	67
67	"		"	" 11.4 " 18.3	" "	"
68	"		"	" 6.6 " 9.7	" "	"
69	ルリ釉香炉		"	"		68
70	支那南蛮魏	中 国	19~ 20世紀	" 47.0 " 12.8	仲村 武次	60
71	ルリ釉香炉		18~ 19世紀	" 10.5 " 20.0	今村 黙	57
72	竹筒型花生	壺 屋	19世紀	" 29.5 " 14.0	" "	"
73	白磁獅子面付香炉	中 国 (?)	18~ 19世紀	" 6.2 " 11.8	糸数 春子	25

No	品 名	窯	時 代	寸法(単位cm)	所 者 名 (敬称略)	住 所
74	緑釉四角香炉	壺 屋	19世紀	タテ ヨコ 高さ 17.5 10.5 7.0	新城(?)	字慶留間?
75	呉須絵香炉	"	"	実測せず	"	"
76	緑釉香炉	"	"	"	"	"
77	花生	"	"	"	"	"
78	青磁香炉	中 国 (?)	20世紀	"	屋号 (ニシミグワー)	
79	ルリ釉香炉	壺 屋	19 "	高さ 12.1 口径 19.5	仲村 カマ	" 55
80	緑釉香炉	"	"	" 10.2 " 17.0	仲村 米子	" 46

(註) No.19 は絵画資料である。

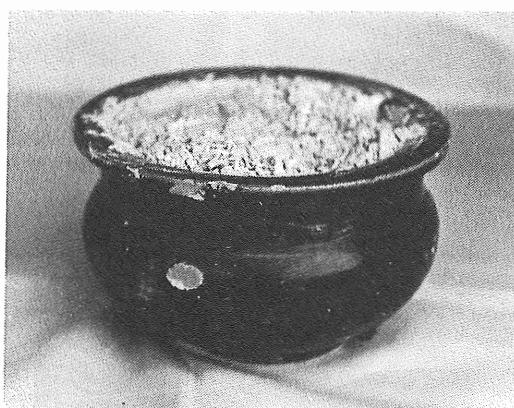
図版 1



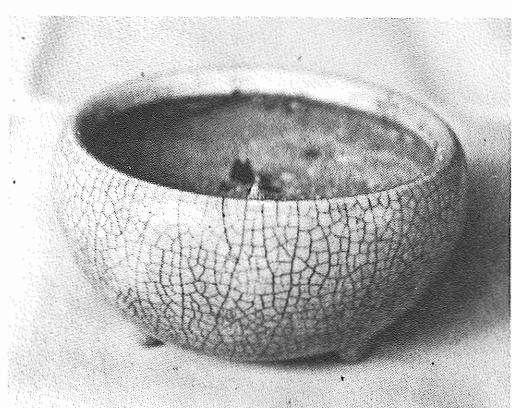
1 緑釉香炉（資料一覧⑤）



2 ルリ釉香炉（資料一覧⑫）



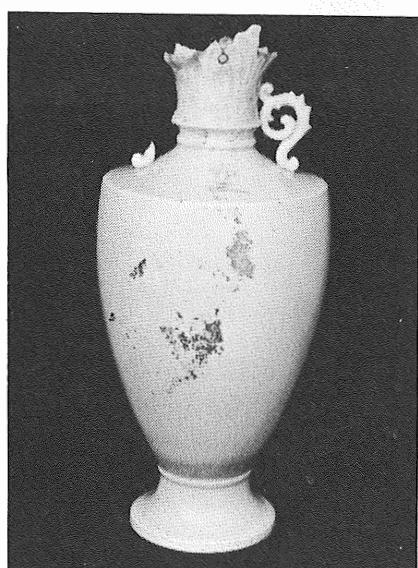
3 ルリ釉香炉（資料一覧⑦）



4 香炉（資料一覧②）



5 ルリ釉香炉（資料一覧⑧）



6 白薩摩花瓶（資料一覧⑩）

図版 2



7 青磁香炉（資料一覧⑥）



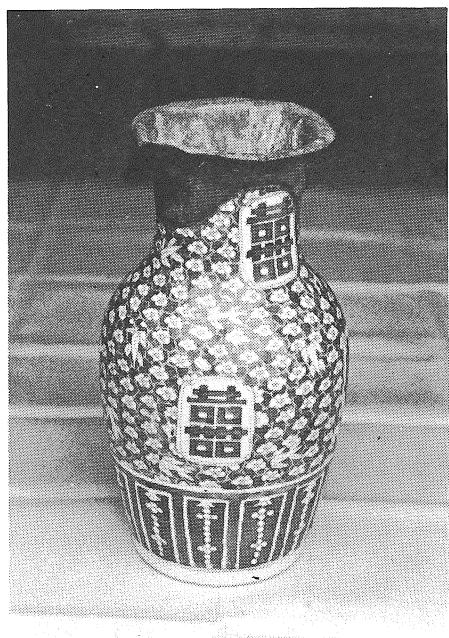
8 荒焼徳利（資料一覧⑩）



9 黒釉油壺（資料一覧⑦）



10 赤絵香炉（資料一覧⑨）

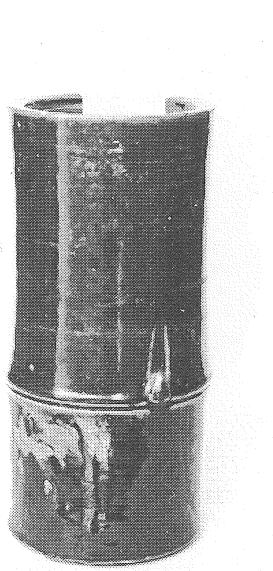


11 染付喜字梅竹文花瓶
(資料一覧⑩)

図版 3



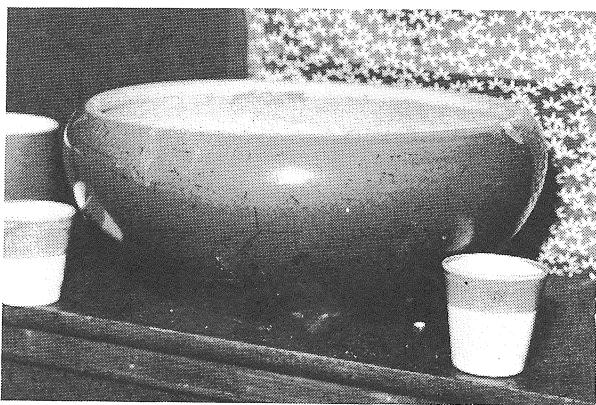
12 ルリ釉香炉（資料一覧⑥2）



13 餘釉竹筒型花生（資料一覧⑥0）



14 薩摩焼甕（資料一覧⑤9）



15 ルリ釉香炉（資料一覧⑥1）

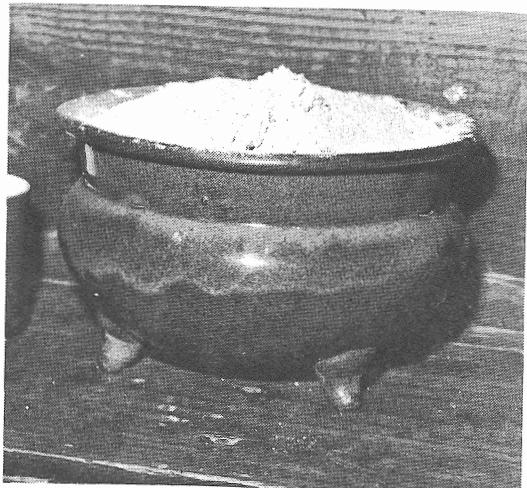


16 黒釉花生（資料一覧⑤4）

図版 4



17 緑釉香炉（資料一覧⑧〇）



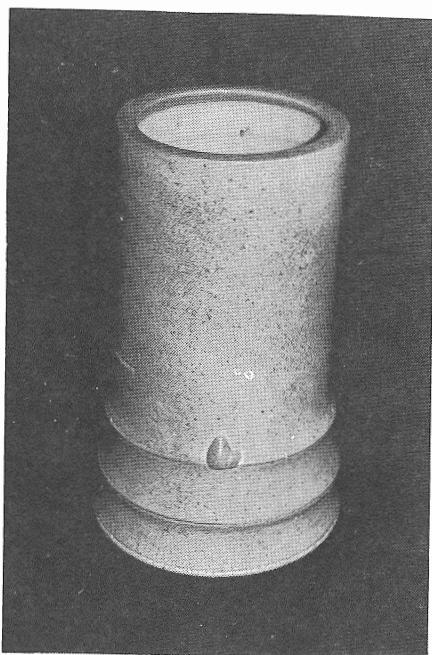
18 緑釉香炉（資料一覧⑥〇）



19 緑釉香炉（資料一覧⑥〇）



20 ルリ釉香炉（資料一覧⑦〇）



21 竹筒型花生（資料一覧⑦〇）